

研究・調査報告書

報告書番号	担当
491	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Alcohol and gynecological cancers: an overview. アルコールと婦人科癌：オーバービュー	
執筆者	
Hjartåker A, Meo MS, Weiderpass E.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Eur J Cancer Prev. 2010 Jan;19(1):1-10.	
キーワード	
婦人科癌、子宮頸癌、子宮体癌、子宮内膜癌、卵巣がん、膣癌、外陰癌、アルコール消費量	
要旨	
<p>この論文の目的はアルコール消費と婦人科癌のリスクについての文献の知見をまとめることである。Medline によって 2009 年 3 月までに公表されたアルコール飲料の消費量と子宮頸癌/体癌、子宮内膜癌、卵巣がん、膣癌、外陰癌との関連について検討されたコホートやケースコントロール研究を対象とした。交絡要因についての情報を持つ、一般集団を対象とした前向き研究は少なく、特に子宮頸がん、体癌、外陰癌、膣癌で少なかった。幾つかの登録研究では子宮頸癌、外陰癌、膣癌のリスクはアルコール依存症者のほうが一般集団より高いことが報告されている。しかし、それらの知見は交絡要因を調整した一般集団での研究では確認されていない。子宮内膜癌、体癌、卵巣がんはアルコール消費とは関連はなさそうである。アルコールの量や飲料別（ワイン、ビール、蒸留酒）と他の危険因子との相互作用を検討した研究ではアルコールと婦人科癌との間の関連を認めることはできなかった。現在までのエビデンスでは、いくつかの点では不十分であるが、婦人科癌のリスクとアルコール消費量とは関連がなさそうであることを示唆している。</p>	